令和７年度鳥取県営病院事業

決算概要説明資料

病　院　局

令和７年度鳥取県営病院事業決算概要

病　院　局

１ 概　　要

○令和7年度は、病院事業全体では、中央病院での低侵襲心臓カテーテル治療の開始や厚生病院の胸部外科関連の手術件数の増加に伴い医業収益は1,047百万円の増収となったものの、人事委員会勧告に伴う給与改定や物価高騰の影響による医業費用の大幅な増加と診療報酬の乖離が更に拡大したことにより、令和6年度比356百万円の損失拡大となる1,383百万円の純損失を計上した。

○このことに伴い、累積欠損金は、病院事業全体で62億円に増加したが、現金・預金残高は10,470百万円保有しており、資金面で当面の経営に支障はない。

２ 収益的収入及び支出

（単位：百万円（税抜））

区　分	令和７年度 (A)	令和６年度 (B)	差　引 (A)-(B)	主　な　増　減　理　由　等
病院事業収益	30,836	29,819	1,017	
中央病院	22,126	21,484	642	
厚生病院	8,710	8,335	375	
医業収益	27,166	26,148	1,018	○入院収益及び外来収益の増
医業外収益	3,437	3,481	△ 44	○病院事業交付金の減
特別利益	233	190	43	
病院事業費用	32,219	30,846	1,373	
中央病院	22,892	22,037	855	
うち減価償却費	1,892	2,146	△ 254	○新病院整備に伴う建物・機器類に係るもの
厚生病院	9,327	8,809	518	
うち減価償却費	531	488	43	
医業費用	30,559	29,176	1,383	○給与費の増（884百万円）、材料費の増（669百万円）ほか
医業外費用	1,618	1,623	△ 5	
特別損失	42	47	△ 5	
経常損益	△ 1,574	△ 1,170	△ 404	（医業収益＋医業外収益）－（医業費用＋医業外費用）
中央病院	△ 924	△ 650	△ 274	
厚生病院	△ 650	△ 520	△ 130	
純損益（収入－支出）	△ 1,383	△ 1,027	△ 356	経常損益＋特別利益－特別損失
中央病院	△ 766	△ 553	△ 213	
厚生病院	△ 617	△ 474	△ 143	
現金・預金残高	10,470	11,681	△ 1,211	
中央病院	5,803	6,352	△ 549	
厚生病院	4,667	5,329	△ 662	
累積欠損金（当年度未処理欠損金）	△ 6,236	△ 4,853	△ 1,383	
中央病院	△ 3,798	△ 3,032	△ 766	
厚生病院	△ 2,438	△ 1,821	△ 617	

3 資本的収入及び支出

（単位：百万円（税込））

区　分	令和７年度 (A)	令和６年度 (B)	差　引 (A)-(B)	備　考
資本的収入	2,274	2,426	△ 152	
企業債	1,516	1,256	260	建設改良費に充当
負担金	634	1,004	△ 370	企業債償還金に充当
補助金	79	89	△ 10	建設改良費に充当
一般会計精算金受入	45	77	△ 32	一般会計精算金（※）の後年度受入
その他の収入	0	0	0	
資本的支出	4,034	3,688	346	
建設改良費	1,696	1,421	275	
企業債償還金	2,338	2,267	71	
補助金返還金	0	0	0	
収入－支出	△ 1,760	△ 1,262	△ 498	
中央病院	△ 1,142	△ 813	△ 329	
厚生病院	△ 618	△ 449	△ 169	

※一般会計精算金：過年度に交付された病院事業交付金の精算。

■主な整備事業

【中央病院】

○医療機器等整備事業　822百万円

（放射線機器（スペクトラルＣＴ）241百万円、生体情報モニタリングシステム106百万円ほか）

【厚生病院】

○外来棟照明ＬＥＤ化改修工事　108百万円

○医療機器等整備事業　682百万円

（磁気共鳴画像診断装置（ＭＲＩ）258百万円、血管撮影装置165百万円ほか）